

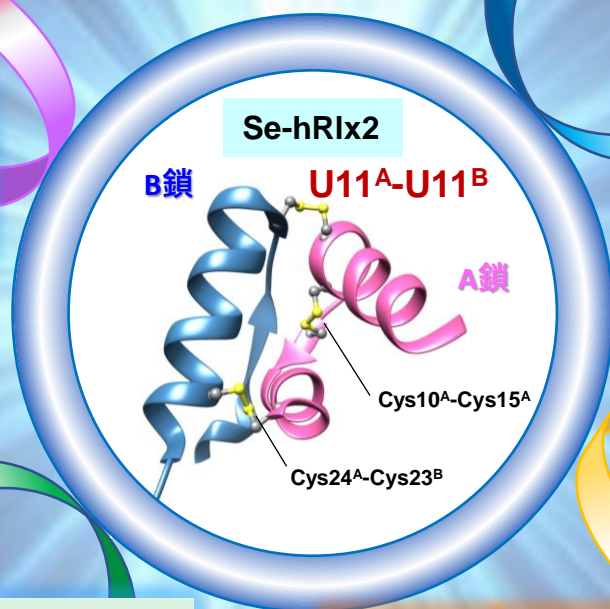
# 有効な分子デザイン戦略の提案

- ◆ アナログ製剤候補の調製
- ◆ 迅速なスクリーニングが可能

## 化学合成のメリット

1. 化学修飾が容易
2. 非天然アミノ酸の導入が容易
3. 大型の設備投資が不要 (バイリアクター等)

製剤の構造最適化を反応性・熱力学的観点から検討可能



## 当研究室の技術の概要

生物物理化学  
生化学  
有機化学

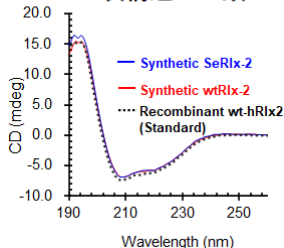
## 当研究室の研究分野



ペプチド鎖の直接的な自己組織化 (NCA法) により、高効率の protein-folding を実現!

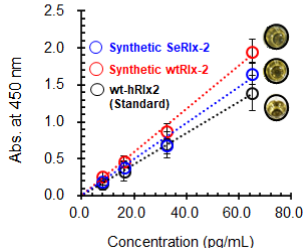
### 円二色性スペクトル

#### 二次構造の一致



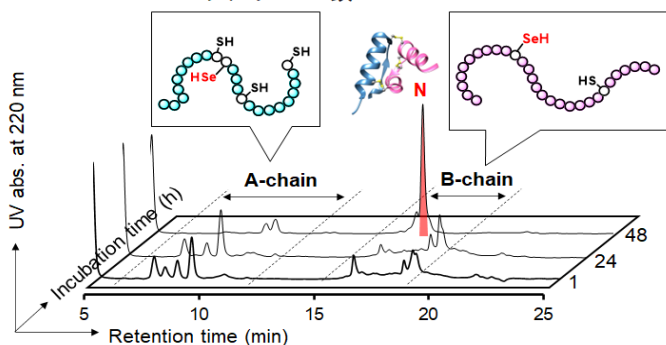
### ELISA

#### 受容体合能の観測

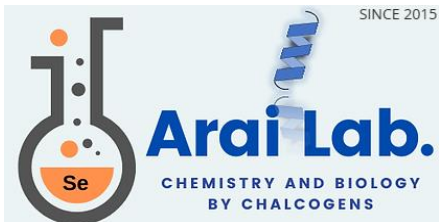


### セレノリラキシンA鎖

### セレノリラキシンB鎖



当研究室の取り組みをもっと知りたい方はこちら ↓



東海大学理学部化学科

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1

荒井研究室 (講師 荒井堅太)

[tokai-arai-lab.com](http://tokai-arai-lab.com)

E-mail: [k-arai4470@tokai-u.jp](mailto:k-arai4470@tokai-u.jp)

Phone : 0463-58-1211 (内線3483)

Direct line: +81-463-63-4707

Fax : 0463-50-2094